

信州大学概観

昭和25年(1950)10月 信州大学蔵

現在の「大学概要」の第1号に相当する。冒頭の「沿革の概要」には信州大学の誕生に至る経緯が詳細に記されており、1948年の文部省への申請から、前身校を母体とした大学設立、最初の入学式は7月だったことなど、慌ただしい中で大学が誕生した様子が紹介されている。

沿革の概要

終戦後諸事革新のときに際し、教育制度の改革も企てられたが、その議熟して、昭和二十二年三月教育基本法及び学校教育法の公布を見て、茲に所謂六三三、四の劃期的新学制が施行せられることとなつた。かくて新制度に依る大學は昭和二十四年度から發足の見込となつたので、昭和二十三年四月信州大學設置準備委員會を組織し、續いて縣内各階層の代表者により信州大學設立期成同盟會を設け、その後設置準備委員會は實施準備委員會と改まり、設立期成同盟會の後援を得て、綜合大學としての信州大學の設立について熱心に研究協議の結果、長野縣下に所在する松本高等学校・長野師範學校と長野青年師範學校、松本醫科大學と松本醫學專門學校、長野工業專門學校の國立學校の施設一切を母体とし、長野縣より多額の寄附の承諾を得て、將來設備施設の充實を期し、文理學部・教育學部・醫學部・工學部の四學部より成る信州大學の設立を決定し、文部省にその設置認可を申請した。

一方上田織維專門學校は單科の織維大學の設立を目指し、又長野縣立農林專門學校は縣立農科大學とし發足する準備をしていたが、その後諸種の事情に依り夫々織維學部、農學部として信州大學に加入することとなり、大學設置委員會の議を経て文部省から設置認可を受けた。

信州大学概観

昭和二十五年十月

表紙



松本キャンパスのシンボル ケヤキ並木今昔

松本医学専門学校(医学部の前身校)初代校長の竹内松次郎は、松本歩兵第五十連隊跡地であった広大な構内(現松本キャンパス)の植樹計画を立て、緑化を推進した。1946年に当時のメインストリートの両側にケヤキ苗を植えた。ケヤキ並木はキャンパスのシンボルとして今に受け継がれている。

松本医科大学創立記念植樹に立会う竹内松次郎大学長(右端)(※2) (※1.2は医学部所蔵写真より)

1951年当時のケヤキの並木(※1)

信州大学の歴史がわかるムービー 「信州大学のあゆみ」

～信州の高等教育：黎明期から大学誕生まで～



信州における高等教育の黎明期から大学誕生までの軌跡を、当時の貴重な資料と写真を多用した3部仕立てで概観するムービーです。下記QRコードから「信州大学動画チャンネル」にてご覧いただけます。(約27分)

- 第1部「旧制高等学校と大学設置運動」
- 第2部「旧制松本高等学校」:
前編「青春謳歌」/
後編「戦争という激流のなかで」
- 第3部「信州大学誕生」



信州大学大学史資料センター企画展



信州大学誕生

残された文書が語る誕生の舞台裏

◆展示趣旨

本展示は、「信州大学創立70周年・旧制松本高等学校100周年記念事業」の一環として、1949年の開学に焦点をあわせ、開学までの歩みや、学生募集など開学準備の様子などを展示します。展示を通じ、学生・教職員はもとより一般の方々にも、本学の成り立ちについて知っていただきたいと思ひます。

主催：信州大学大学史資料センター・附属図書館



センターWEBページ

大学史資料センターではみなさまからの情報提供をお待ちしております

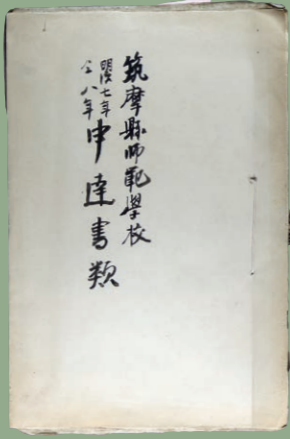
信州大学は、2019年に迎えた創立70周年を機に、本学の歴史に関する資料の体系的な収集・整理・保存・公開・展示等を担う組織として、2017年4月に信州大学大学史資料センターを設立しました。70周年記念事業の総括をふまえ、新たなミッションとして「信州大学100年史の編纂」を行うこととなりました。みなさまからの本学の歴史に関する文書、写真、記念品などの歴史的資料と、それに関する情報のご提供も随時受け付けております。

お問い合わせ先
信州大学大学史資料センター
 〒390-8621長野県松本市旭3-1-1
 TEL:0263-37-3531 FAX:0263-37-3532
 E-mail:archives@shinshu-u.ac.jp
 (平日9:00～16:00)

信州大学の はじまり

明治以降、長野県内各地に高等教育機関が設立されるなかで、信州大学の設置運動も大きな盛り上がりを見せ、戦時下においても止むことはなかった。

教育学部の前身 筑摩県師範学校の教員免許発行に関する書類。本学が所蔵する前身校資料として、最も古い資料。



筑摩県師範学校 明治7-8年申請書類
教育学部 蔵

「信濃教育」編集主任の村松が、長野県に大学を設置する必要性を論じた論文。すでに「信州大学」の名前がみえる。



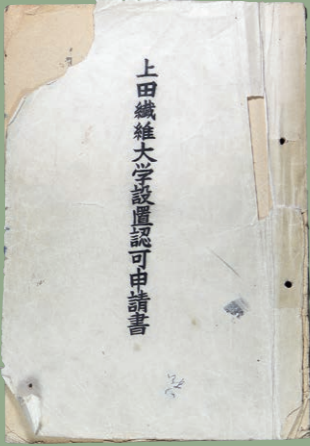
村松民次郎「本県教育の精神と信州大学」
〔信濃教育〕349号、大正4年(1915)
中央図書館 蔵

開学準備

単科大学 への模索

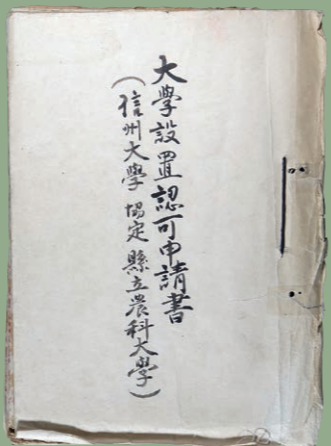
第二次世界大戦後、新憲法、教育基本法の下で民主化が進められ、大学も新たな出発を求められた。戦前の高等教育機関はそれぞれ単独で大学設置(昇格)を目指すとしたが、「1県1大学」とする文部省の方針が示され、長野県においても、県主導のもと、前身校「設置への準備が進められた。

単独での大学設置(昇格)の動きは、上田繊維専門学校では信州大学開学直前まで続いたが、最終的に信州大学に合流した。



上田繊維大学設置認可申請書
昭和23年(1948)
大学史資料センター 蔵

長野県立農林専門学校「県立農科大学」昇格を目指して、長野県知事が文部省に提出した申請書。教養課程を信州大学で履修することを前提としている。



大学設置認可申請書(県立農科大学)
昭和23年(1948)5月
大学史資料センター 蔵

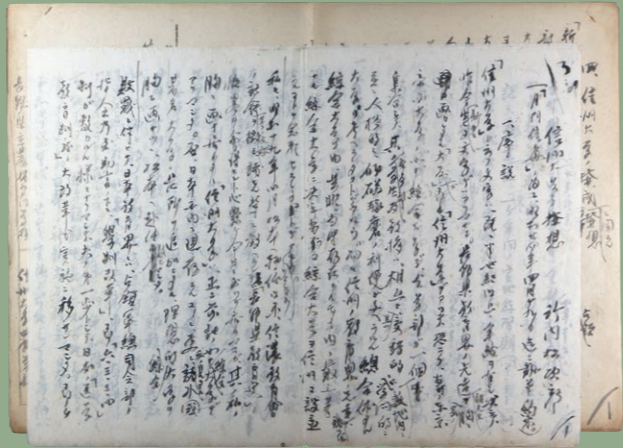
総合大学 に向けて

前身校校長による調整会議の結果、信州大学は、6学部からなる総合大学として誕生することになる。1949年6月の開学に向けて、膨大な申請書類が作成された。信州大学の設置は、軍国主義から民主主義へ、軍部から学都へと変わろうとする社会の象徴となった。



信州大学創設関係資料
昭和18~26年(1943-51)
大学史資料センター 蔵

信州大学設置認可申請書作成のために準備された書類。11冊にまとめられた。



随筆 竹内松次郎「信州大学の構想」
昭和24年(1949)5月
大学史資料センター 蔵

松本医科大学長で国立信州大学実施準備委員会委員長でもあった竹内松次郎が、1949年5月に『月刊信毎』に寄稿した随筆の草稿。設立準備過程で考えてきた構想が記されている。

信州大学の 誕生

信大生 誕生

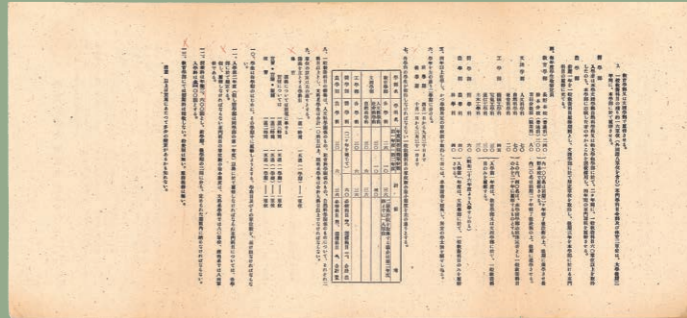
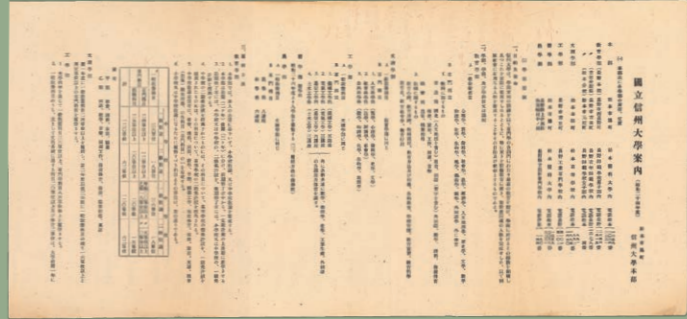
1948年秋から冬にかけて、開学の準備が進められた。学生の募集については、大学案内や入学志願者募集要項が作成され、入学志願者に届けられた。1949年5月31日、国立学校設置法が公布・施行され、新制国立信州大学が発足した。開学記念日は6月1日とした。

開学 記念式

1950年10月30日、開学式が行われ、高橋純一初代学長の挨拶をはじめ、各界からの祝辞が寄せられ、あわせて講演会、祝賀会が開催された。

- 1949年5月31日 国立学校設置法公布・施行。
信州大学設置が大学設置委員会で認められたことを文部省学校教育局長により通知。
- 1949年6月1日 信州大学開学。
- 1950年10月30日 開学式挙行。

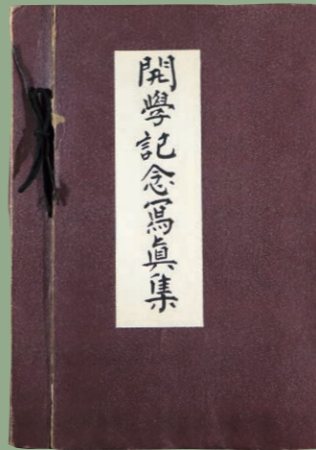
信州大学の初めての大学案内。受験生向けに、大学の概要を記している。



国立信州大学案内(昭和二十四年度)
教育学部 蔵



昭和26年度信州大学医学部受験票
大学史資料センター蔵
医学部第1回入学試験の受験票。専門課程は昭和26年度から始まった。



開学記念写真集
昭和25年(1950)10月 信州大学 蔵

信州大学の開学を祝う記念式典(1950年10月30日挙行)の様子を撮影した写真がおさめられている。



開学記念式典の際、杉の葉で飾りつけられた式典の入場アーチが大学正門の前に建てられた。

開学記念写真
昭和25年(1950)10月 信州大学 蔵

「開学記念写真集」に挟まれていたスナップ写真。バラで8枚が現存する。



開学式で式辞を述べる高橋純一学長。記念式は女子師範学校講堂で挙行された。